

若桜鉄道 S L 整備ボランティア

平成28年3月26日(土)

若桜鉄道の S L がゴールデンウィークにピンクの S L に変身します。
その前作業として S L の足回りを整備するボランティアを生徒会で募集したところ10名の生徒が参加してくれました。

若桜駅10時37分着の列車で向かい、到着するとすぐに作業に取りかかりました。
若桜鉄道の谷口課長の指導でまずは S L のさび落としを行いました。
これは根気のいる作業であり、ひたすら磨いてさびを落としました。忍耐力が養われる作業です。
昼休憩は暖かい青空の下、ベンチや S L の前で日光浴をしながら食べました。



S L の前で弁当タイム

1 時間の休憩時間がありましたが、午後の作業開始予定時間を待たずに再び作業に取りかかりました。
午後は足回りのさび取りのあと、運転室の整備や S L の全面の蓋を開けて煙突の下にたまっている灰のかき出しを行いました。
作業をしながら現場ならではの機構の説明などを伺いとても勉強になりました。
また、全員が S L の汽笛を鳴らし、迫力ある音をしっかりと記憶しました。



作業に励む生徒たち

作業の終わりに、たまたま若桜鉄道を訪れていらっしゃいました鉄道総合技術研究所の前橋主査(東京交通短期大学講師)に鉄道に関わる技術開発のお話などを伺うことができました。本当に普段お会いすることのできない方に鉄道技術の先端のお話を伺えたことは今回のボランティアに参加したご褒美のような出来事でした。



前橋主査(左)と谷口課長(右)からの話を伺う生徒たち

ピンクに変身したSLを是非みなさんにも見て欲しいと思いますが、足回りもすこし覗いてみてください。



若桜鉄道の皆様、前橋様 ありがとうございます。